

関西電力の電気料金値上げ申請について

電力の安定供給が実現されるためのコストは、ある程度は受け入れるのが筋である。ただし、企業向け料金約 20%の値上げ幅は、電力消費の多い産業や中小企業には極めて厳しく、地域の経済成長にも水を差すことになる。

関西電力は、顧客の理解を得るために、人件費削減や資産売却など、聖域のない一段の合理化・コスト削減に取り組み、値上げ幅を圧縮するよう、更なる努力をお願いしたい。

また、次期政権を担う政党は、電力の安定供給とともに、火力や太陽光など代替エネルギー普及に伴うコスト増加も、エネルギー政策の大きな課題であることを認識し、中小企業に配慮した負担軽減措置などについても留意するべきである。

以 上

平成24年11月26日
京都商工会議所
会頭 立石 義雄